

土地所有者意向調査結果概要

「JR行田駅前広場周辺再整備基本計画」を策定するにあたり、JR行田駅周辺地区の土地所有者に、今後の土地の利活用等に関する意向を調査するためのアンケートを行った。アンケートの概要は以下の通りである。

【アンケート調査の概要】

調査対象 : 行田市壺里山町内で一定規模以上の土地を有料駐車場などとして活用している方や未利用地を所有している方を対象とし、アンケート票を郵送

調査時期 : 平成26年8月21日～9月14日

配布数 : 48票

回収数 : 31票 ※回収率64.6%

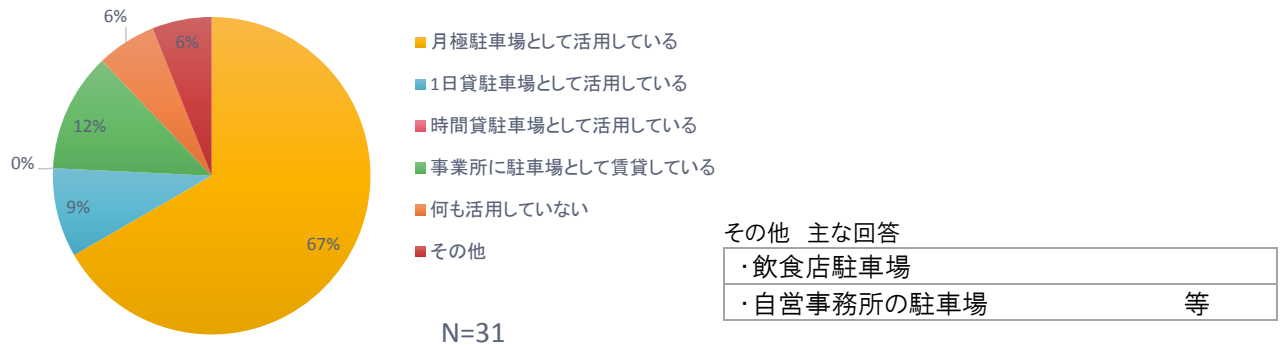
1. あなたが壺里山町内に所有している土地についてお聞きします。

(1) 土地の利用状況

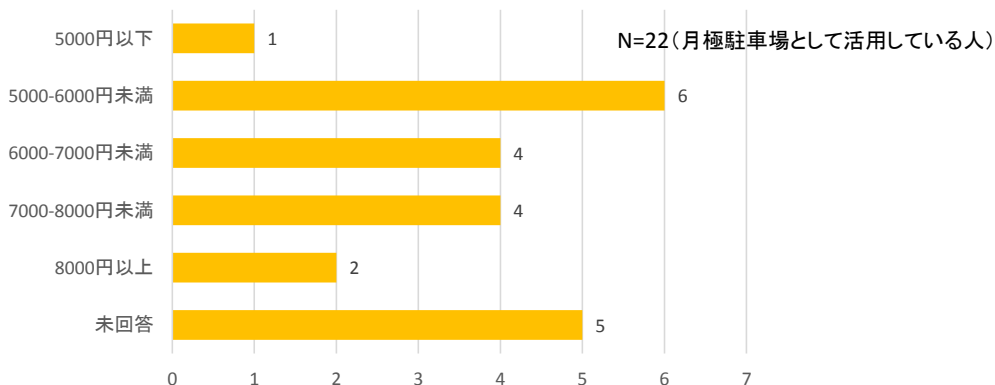
所有している土地において、「月極駐車場として活用している」との回答が67%と最も多く、次いで「事務所に駐車場として賃貸している」との回答が12%である。「何にも活用していない」との回答は6%と少ない。

月額駐車場では、最小で4,000円/月、最大で8,500円/月となっており、5,000～6,000円/月が最も多い。なお、1日貸駐車場では300円であった。

■所有している土地の利用状況について教えてください。



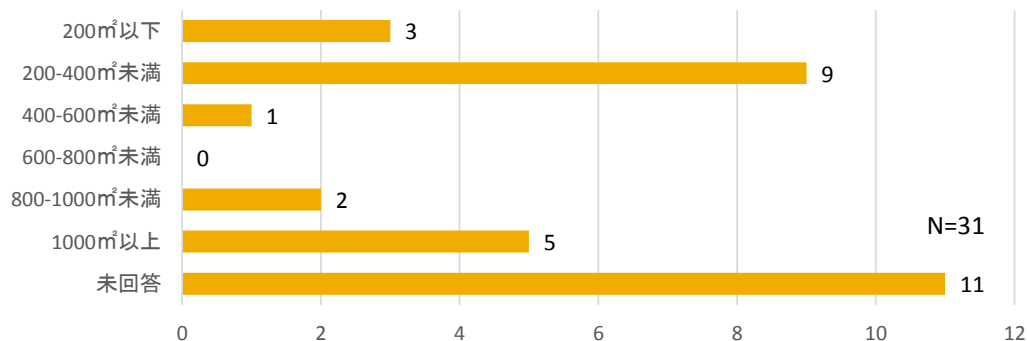
■月極



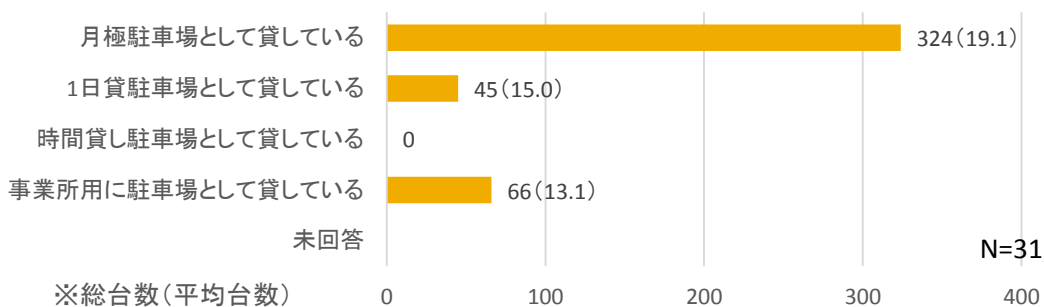
(2) 土地の総面積、利用目的別面積

所有する土地の面積は、最小で 90 m²、最大で 1,400m² であり、200~400 m² との回答が最も多い。駐車場としての利用では、月極駐車場が 324 台分、日貸駐車場では 45 台分となっている。

■所有する総面積

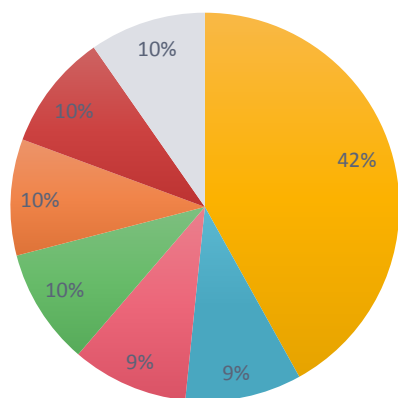


■利用目的別の面積



(3) 今後の土地所有意向について

土地所有意向において、「土地を継続的に所有し、現在と同じ形態で活用を予定している。」との回答が 42%と最も多く、次いで「時機を見て、所有地を売却したいと考えている」「市で歩道整備・住環境整備等を行うのであれば、土地を部分的に売却してもよい」との回答が多い。「その他」には「子どもの住宅建築の予定」との回答もあった。



- 土地を継続的に所有し、現在と同じ形態で活用を予定している
- 土地を継続的に所有し、新たな事業用地(箱物)として活用を予定している
- 短期的に所有地を売却したいと考えている
- 時機を見て、所有地を売却したいと考えている
- 市で歩道整備・住環境整備等を行うのであれば、土地を部分的に売却してもよい
- その他
- 無回答

N=31

その他 主な回答

・子供の住宅建築

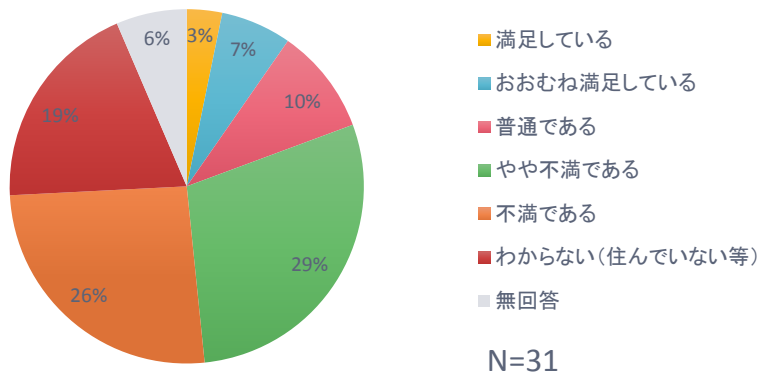
等

2. JR 行田駅周辺地区のまちづくりに関するご意見をお聞きします。

(1) 現在の JR 行田駅周辺地区の環境について

JR 行田駅周辺地区の環境において「やや不満である」との回答が 29%と最も多く、次いで「不満である」との回答が 26%である。これらを合わせると 55%となることから、半数以上が JR 行田駅周辺地区の環境に対し、少しでも不満を感じていることがわかる。

■現在の JR 行田駅周辺地区の環境に満足されていますか。



(2) 現在の JR 行田駅周辺地区の問題だと感じることにについて

JR 行田駅周辺地区の問題において、「商店や飲食店が少なく、不便である」との回答が最も多い。次いで「駅前広場でバス・タクシー・一般車の混雑が危険である」「歩道が設置されていない箇所があり歩行者が危険である」「歩道や車道に街灯が少なく、夜間の通行が危険である」「駅前広場が狭くて利用しにくい」などの回答も多いことから、駅前広場の導線、歩道の設置・整備などが課題とされる。

■現在の JR 行田駅周辺地区において問題だと感じることにについてお答え下さい（主な三つ）



その他 主な回答

・鴻巣市と協力して連携をとるべき	
・JR 行田駅を鴻巣市民が来るようにするべき	
・行田市駅方面のバスが吹上発の為乗降客が少ない	等

(3) JR 行田駅周辺地区はどうあるべきかについて

JR 行田駅周辺地区の今後の方向性については、「買い物施設や娯楽施設などが集まり、賑わいがあるまち」や「行田市南の玄関口として、まちなみ景観の形成や道路の緑化などを重視したまち」との回答が多い。

■土地所有者の観点からみて、JR 行田駅周辺地区はどうあるべきだと思いますか。(主な三つ)



その他 主な回答

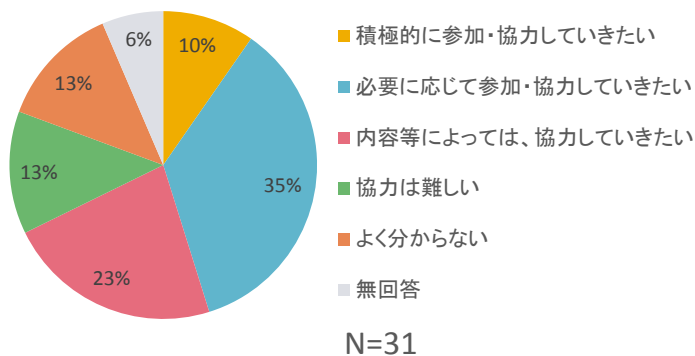
・市営駐輪場を北鴻巣駅のように作るべき	
・コイン駐輪場を作るべき	等

(4) JR 行田駅周辺地区におけるまちづくり活動について

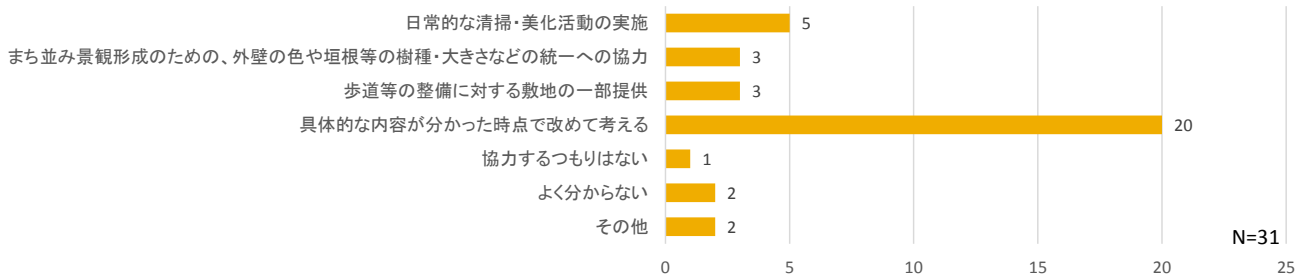
まちづくり活動において「必要に応じて参加・協力していきたい」との回答が 35%と最も多い。次いで「内容によっては協力していきたい」との回答が 23%であり、「積極的に参加・協力していきたい」との回答と合わせると、まちづくり活動に対して協力的な回答は 68%と多い。

協力できる内容としては、「具体的な内容が分かった時点で改めて考える」との回答が最も多く、具体的な内容としての回答は「日常的な掃除・美化活動の実施」との回答が比較的多い。

■参加・協力の可能性についてお答えください。



■ ご協力できる内容についてお答えください。



その他 主な回答

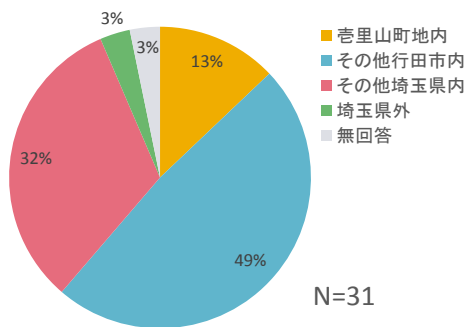
・小手先の整備は意味がない	
・アウトレット建設等、画期的な事業が必要ではないか	等

3. ご自身についておたずねします。

(1) あなたのお住まい（事業所所在地）はどちらですか。

アンケート回答者の住まいにおいて、壺里山町含め行田市内在り62%であり、「その他埼玉県内」が32%である。「その他埼玉県内」においては鴻巣市、熊谷市に住む人が多い。

■居住地



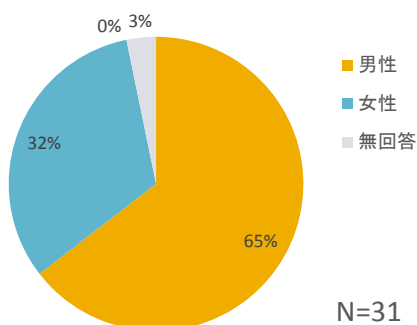
その他 主な回答

・鴻巣市	
・熊谷市	等

(2) あなたの性別は

性別は男性が65%、女性が32%とやや男性が多い。

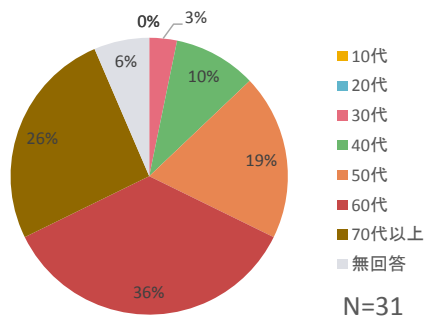
■性別



(3) あなたの年齢は

年齢は、30代～70代以上であり、60代が36%と最も多く、70代以上が26%、50代が19%、40代が10%、30代が3%である。

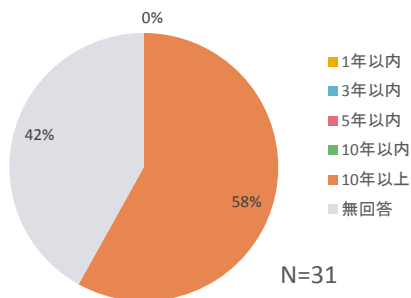
■年齢



(4) 市内での居住年数を教えてください。(行田市市内にお住まいの方)

市内での居住年数は、10年以上が58%を占める。

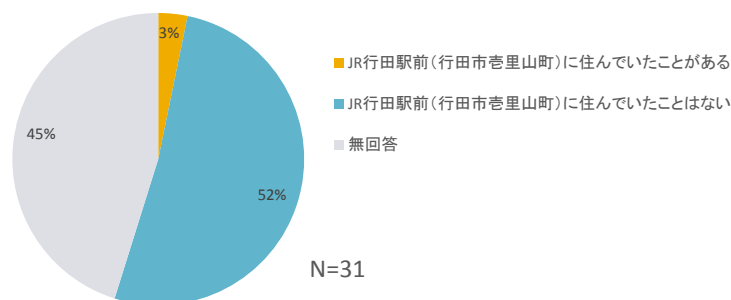
■行田市市内での居住年数



(5) JR 行田駅周辺地区での居住経験について (行田市外にお住まいの方)

行田市外に住む人においては、「JR 行田駅前に住んでいたことがない」との回答が52%、「JR 行田駅前に住んでいたことがある」との回答が3%である。

■JR 行田駅周辺地区での居住経験



◆その他 主な自由意見・要望等

・17号国道沿い全体を含めた整備が望ましい	
・行田市の発展(人口増加)には、JR 行田駅前の再開発が不可欠だと思う	
・駅前通りには商店があり、賑わいがあるとよい	
・熊谷市や鴻巣市との協議が必要ではないか	
・駅前ショッピングセンターの設立・誘致並びに住宅街、高層マンション等の整備が必要	
・観光案内所をわかりやすい場所に設置したほうが良い	等